

第七十二回実朝忌俳句大会入賞句 一般投句の部

令和二年三月一日

順位	賞名	作品	住所	氏名
1	実朝賞	潮引いて引いて実朝忌の渚	東京都	曾根新五郎
2	神奈川県教育長賞	鎌倉の春のほころぶ段葛	東京都	大久保昇
3	鎌倉市長賞	無言また豊かなことば実朝忌	群馬県	小倉ていいち
4	鎌倉市議会議長賞	芽起しの風は山から実朝忌	東京都	中川敏
5	鎌倉市教育委員会賞	右府の忌や鳶の高舞ふ相模灘	茅ヶ崎市	深瀬和子
6	神奈川県新聞社賞	実朝忌芽起しの雨音もなく	横浜市	鈴木基之
7	鎌倉市観光協会賞	実朝の海平らかに初電車	平塚市	中丸しげこ
8	鎌倉商工会議所会頭賞	海鳴りは鎮魂歌かも実朝忌	厚木市	北村純一
9	鶴岡八幡宮宮司賞	一湾の奥に富士頭つ実朝忌	静岡県	太田和志
10	鎌倉彫会館賞	鎌倉の大路に初音こぼれけり	東京都	大久保さく子
11	湘南信用金庫賞	ガード下にて酌みし青春実朝忌	岡山県	尾関當補
12	J・COM湘南賞	波音は永久の語りべ実朝忌	寒川町	金指月光
13	豊島屋賞	雛壇に右大臣をり実朝忌	千葉県	大森慶子
14	鎌倉彫博古堂賞	朱の橋に集まる鯉や実朝忌	東京都	橋本世紀男
15	鎌倉彫博古堂賞	鎌倉の谷戸の初音や実朝忌	栃木県	平野暢行
16	紀ノ国屋賞	数の子を噛めば切字の響きあり	千葉県	菅谷貞夫
17	江ノ島電鉄賞	湘南の風にひらひら若布干す	鎌倉市	岩崎利恵子
18	齊藤建設賞	富士あはく沖ばうばうと実朝忌	厚木市	恩曾川太郎
19	島屋賞	実朝の海をはるかに冬すみれ	横浜市	江口来童
20	鎌倉虚子立子記念館賞	薄氷の割れて青空動きけり	横浜市	藤川和男
21	鎌倉虚子立子記念館賞	鎌倉に笹鳴く右府の忌なりけり	茅ヶ崎市	内山良子
22	瑞泉寺賞	笹鳴や日の透きとほる雑木山	東京都	谷川治
23	瑞泉寺賞	鳩の群割つて走る子実朝忌	岐阜県	三輪洋路
24	スルガ銀行賞	冬木の芽こぞ若宮大路かな	二宮町	佐藤美保
25	スルガ銀行賞	右府の忌の近付く海の光かな	東京都	松木昌子
26	かまくら春秋社賞	伊勢海老の活きて届くや実朝忌	埼玉県	志村美好
27	鎌倉彫刻賞	実朝の忌あり無言の冬のあり	千葉県	宇野久美子
28	鎌倉彫刻賞	江ノ電に運ばれてゆく春日差	横須賀市	濱口たかし
29	鎌倉同人会賞	実朝忌ほんのちらりと昼の雪	横浜市	杉山太郎
30	鎌倉同人会賞	春宵や文士気分の路地歩き	逗子市	佐藤信子
31	鎌倉同人会賞	枯歯朶に切岸の音実朝忌	茅ヶ崎市	菅谷淑子
32	鎌倉同人会賞	春星となりし詩魂や実朝忌	横須賀市	佐藤栄一
33	鎌倉同人会賞	鯛の来る気配して潮鳴りぬ	鎌倉市	中村草馬
34	鎌倉同人会賞	実朝忌海に問ひたきことばかり	秋田県	石川明
35	鎌倉同人会賞	いにしへが今も息づく実朝忌	東京都	目黒輝美
36	鎌倉同人会賞	揚花火足に絡まる由比ヶ浜	栃木県	馬場弘光
37	鎌倉同人会賞	祭とは雨にも負けず山車を引く	座間市	野島巧休
38	鎌倉同人会賞	海も哭くものふも哭く実朝忌	川崎市	前川整洋
39	鎌倉同人会賞	うららかや鎌倉の山みな低く	茅ヶ崎市	岩崎絵美
40	鎌倉同人会賞	うららかや鎌倉の山みな低く	横浜市	竹澤聡